

里海通信

能登町立小木小学校

令和4年8月4日

1学期に行った各学年の里海学習の様子をお伝えします。

1年生

1年生は、6月1日に親子で海と魚の科学館へ行きました。館内を見学してから、貝などで作品を作ったり、魚のえさやり体験をしたりしました。短い時間でたくさん海に親しむことができました。



2年生

図鑑やインターネットで、海にすむ生き物のことを調べました。浅い海にすむ生き物、深い海にすむ生き物に仲間分けして掲示しました。住む場所や特徴を詳しく調べたり、お気に入りの生き物を見つけたりすることができたので、2学期実施予定の水族館につながる学習となりました。



3年生

6月27日に金沢大学臨海実験施設、海洋ふれあいセンター、里海研究所の先生方のご協力を得て、川の生き物の採取を行いました。採取後、生き物の名前や特徴について教えて頂き、じっくりと観察をしました。

なんと！石川県の絶滅危惧種に登録されている二枚貝を発見しました！マツカサガイもしくはヨコハマシジラガイのどちらかで、現在調査中です。どちらも松波川では発見されていなかったもので、まさに大発見です。



4年生

小木の港を賑やかに飾る、豪華なイカ釣り船。中に入って、間近で見たり、実際に操作したり、子供達からの質問に一つ一つ丁寧に答えていただいたり、とても貴重な体験でした。学んだことは、総合的な学習の時間に、クロームブックを使ってまとめました。



5年生

和平商店へ見学に行きました。和平商店は、スルメイカを扱った商品を扱う地元の会社です。小木にとってスルメイカとはどんな存在なのか考えている5年生にとって、とても貴重なお話を聞くことができました。中型イカ釣り漁船の規模や、どれくらいイカを釣るのかなど、イカ釣り漁についての詳しい話を聞くことができました。また、商品開発について色々な工夫がされていることが学習できました。



6年生

能登高校さんのご協力のもと、能登高校実習船「おおとり丸」の体験乗船をしました。体験乗船では定置網を見て説明を聞いたり、船の中の設備について学習をしたりしました。海図や魚群探知機、レーダーの見方などを分かりやすく教えていただきました。また、実際に船の舵をとる体験もさせていただきました。船の仕組みについて学びを深めることができました。



1学期はそれぞれの学年に応じた学びがたくさんありました。
2学期の海洋教育は、さらに楽しく、さらに深く学習できるように計画しています。